



文化という力

司馬遼太郎記念館
館長 上村 洋行



新緑の季節から、記念館の庭が広がった。

お隣の朝日新聞東大阪支局の移転にともない、跡地を購入した。300余平方メートルの敷地が広がり、庭から書斎や記念館の建物をゆっくりと見るできるようになった。

庭は小さいながら記念館を構成する大切な要件だ。司馬遼太郎は雑木林が好きで、夏には生い茂る雑草も抜かず、秋から冬にかけては落ち葉も積もるままにまかせて自然のたたずまいを楽しんでいた。

庭の緑の種類は多く、樹木ではクス、シイ、クヌギ、カエデ、ヤマモモ、エゴノキなど、花木では、バラ、ボケ、ツバキ、ヤマブキ、アシビ、クチナシなどがある。草花では、豪華な花よりも野に咲く花を好み、ツククサ、タンポポ、ナノハナ、ツツブキ、カタクリなどが季節に合わせて可憐な花をつける。

来館された方々は、この庭を通る小径にしたがい数々の作品が誕生した書斎の前をへて安藤忠雄さんが設計した建物に向かう。ここには司馬遼太郎の蔵書の一部、約2万冊の資料本を収納する大書架がある。

新しい庭は書斎の前あたりで、今ある樹木や草花と同じ種類のを植え違和感のないようにしたい。そのうえで中央部は芝生とベンチを置き、静寂のなかで休憩できる空間を提供しようと思った。

もともと、記念館は見るというより感じることに重

きを置いている。司馬遼太郎の生活の場であった庭、作品を生んだ創造の空間ともいえる書斎、そして、蔵書の大書架、この3つの空間で、来館者がご自由に何かを感じ取られて、しばらく、何かを考える時間をもってもらえないか、と想い描いている。

そういう時間を持っていただく場は多く、広くあった方がいい。庭を拡大しようとしたのはそのためである。かつて関東からこられた年配の女性が「武蔵野の面影があって落ち着きます」と言われた。そのことを大切にしたい。

私には文化は共有すべきもの、という考えがあって、多くの人々にこの記念館の存在を知っていただき、記念館でお感じになったり考えたりされたことを、心の片隅においていただければ、ゆるやかな文化の輪が広がっていくように思っている。

うれしいことに、記念館には多くのボランティアの皆さんが活動して支えてくださっている。寒さや暑さの中でも正門に立って来館者を迎え、展示スペースでの監視やもぎり、庭木の手入れにも加わってくださる。

昨今、滅入ることの多い世の中にあって、こういった心の輪が、記念館を軸に明るい道筋をつくってくれるのではないかと、文化という力を信じたい。



司馬遼太郎の蔵書の一部、
地下1階から地上2階まで2万余冊の大書架
写真提供：司馬遼太郎記念財団

皆様もボランティア活動に参加しませんか

三井ボランティアネットワーク事業団は、三井グループ各社の協力を得て、1996年に設立され、社会全般のシニア層に対してボランティア活動を紹介・仲介・斡旋するとともに、三井V-Net独自のボランティア活動を企画・立案・実行することによって、シニアが豊かで健康な生きがいを感じられるよう支援を行い、三井グループ全体の社会貢献活動に資することを目的としています。

ボランティア活動会員登録に関しましては入会金および年会費は不要です。

活動の詳細ならびにボランティア活動会員登録票は、以下ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.mv-net.com/>

活動会員登録票は本部または支部までFAXにてご送付ください。

本部（東京）TEL：03-5570-2181 FAX：03-5570-8035 関西支部（大阪）TEL：06-4396-8680 FAX：06-4396-8681
中国支部（広島）TEL：082-2222-5101 FAX：082-222-5101



運営会員会社・運営委員

三井物産の社会貢献活動

太田 洋一（三井物産 現役）

三井V-Netは1996年10月に設立され、本年10月には15年目を迎えますが、私は、運営委員長として2009年4月から1年間運営委員の方々と、事業団の今後のあり姿について、様々な観点からの議論をさせていただきました。その結果も踏まえながら、本年度以降には、当事業団の参加者の皆様によるボランティア活動が、時代の動向にあった形で、新たな道筋が出来て行き、更に広く認知されて行くことを願っております。



さて、私の所属する総合商社である三井物産でも、会社の経済的役割・社会的存在意義を十分に考慮し、「CSR(企業の社会的責任)経営」の実践に向け、本業を通じた社会的付加価値の創造に留まらず、本業を越えた社会貢献活動として、会社の強みや知見を活かせる「国際交流」「教育」「環境」の3分野を「社会貢献活動方針」の重点領域に定め、特に、多文化共生、国際的視野を持った人材の育成、地球環境に関する取り組みなどを中核として、様々な社会的課題の解決に少しでも役立つよう推進しております。他方、これらと並行して、社員がボランティア活動を通じ社会的課題への関心や感度を高めていくことを支援するために、ボランティア休暇を設けたり、世界各地で社員自らがボランティア活動に積極的に参加する環境づくりを目指して、Mitsui Global Volunteer Programとして活動の企画や、関連情報の紹介を行ったりしています。

これらの当社の継続的な取り組みが社会に共有され、より大きな規模での社会的課題の解決への流れに繋がっていくことを期待して推進しています。



社員によるアジアの子供向け絵本の翻訳シール貼りのボランティア活動

本部（東京）

私のボランティア活動

大久保 美也子（登録活動会員）



私はアジア・太平洋婦人友好会というボランティアグループで理事を致しております。

この会は、日本を含めたアジア・太平洋25ヶ国の地域諸国間の理解と文化交流、親交の増進と加入国の社会福祉活動及び災害援助活動を支援する等を目的としています。諸費用を得るために年1回のチャリティーバザー、ゴルフ、コンサート等を催しております。

このチャリティーで得たお金を災害援助活動の費用を除いた分を均等に25ヶ国に分け、おのおの国が自国の団体に寄付致します。日本の配分の中から、昨年エリザベスサンダースホームに（私が三井V-Netにご縁があって参加させて頂いているので）些少ながら10万円ご寄附させていただきました。出来ることならば毎年エリザベスサンダースホームにご寄附させて頂きたいのですが、沢山の団体が順番を待っていますので、連続2年続けてご寄附出来るのか、いろいろな団体がそれぞれの悩みを持った人たちのためにご寄附をいたしますので、なかなか難しいところもございます。今年のバザーが終わったばかりなので各国への配分金が6月に決まり、7月の理事会で日本の分の中から寄付先が決まりますので、私も理事会の時にがんばります。この会は月1回の日本人だけの理事会と外国側の理事（各国の大使夫人）とのジョイントミーティングが議事録に基づいて行われます。これからも三井V-Netのために色々ご協力が出来ればと思っています。

三井 V-Net とボランティア活動

若林 茂男 (三井住友海上 OB)



会社在籍時から社会貢献活動に関心を持っていたので、2002年の定年時、かつての上司である宮澤南夫元理事長から当事業団の活動へのお誘いを受けると二つ返事でメンバーにさせて頂きました。以来、活動への参加は生活の一部となっています。

大磯のエリザベスサンダーズホームでは、隔月、園内広場とその周辺の落葉収集・掃除(実に樹木が多い)／庭木の剪定／園児用自転車のパンク修理等に参加、2時間弱の作業は数班に分かれたメンバーが園児の声援を受けて和気藹々に進められ、定年と共に失われた“達成感”を久しぶりに呼び起こしてくれます。汗をかいた後の昼食会(約30名)では楽しい会話が弾み、至福の一時となります。

年数回行われる由比ヶ浜や多摩川の清掃活動にも参加、沖の船影や川面で糸を垂れる釣人を眺めながらトング(火ばさみ)を効率的に動かせる様にもなっています。

横浜国大短期留学生の勉学・活動を支援する“1対1交流”のボランティア活動にも2005年から参加、ベトナム・韓国・米国からの学生との交流を経て、現在はカナダの聡明な女子学生を担当中です。残念ながら語学力が足らず電子辞書を片手に取組んでいます。メンバーが総出で取組むイベント(横浜歓迎ウオーク／建長寺座禅会／工場見学他)では、会話を通して留学生との一体感を味わってみたいです。それにつけても、メンバー仲間の真摯な手を抜かない活動には頭が下がります。

以上に加え年1回、会員の企画による親睦散策会(大雄山参詣／谷中散策／富岡製糸工場見学他)は、自分が参加している活動領域を超えた会員の交流の場ともなっており、必ず参加させて頂いている。

最後に、より多くの方がこれらの活動に参加され、楽しい機会を持たれんことを期待して!

三井V-Netの活動に参加して

白井 則子 (トヨタ自動車 OB 夫人)

昨年東京に引っ越し新生活が始まりました。“新”と言ってもリタイヤ生活では以前を懐かしく思うこと



ばかり。退職後の夫婦関係は多難と言いますが、確かにわが家も例外ではありませんでした。主人が家に居り、今までの自由が制限されストレスが溜まる一方。また主人も新しい生活に適應するのに苦労している様子。そうした中、関係修復のため食事に出かけようとレストランをネット検索していました。その時偶然三井V-Netを知り登録しました。

私は日本語教師の経験から、日本語サロン、東大留学生のサポートに参加しています。活動内容としては文章添削、発音修正、漢字の読み方を教えたり、質問に応えたりしています。ここでは相手の理解可能な簡単な日本語を選び繰り返し話します。そして反応をみながら会話を楽しめる雰囲気になります。聞きたいこと伝えたいことがあると自然に日本語が出てくるものです。また日本に慣れない外国人は話し相手が欲しいようで、ここではお節介も歓迎されます。

私は日本のバブル景気の頃、途上国の留学生にコピー機、ATM機の使い方を教えたこと思い出します。先進国日本に憧れ留学してきた学生達はこれらの物に目を輝かせていました。しかし、現在途上国もネット社会。時代が変わり反対に留学生がiPhoneの使い方、Twitter、Facebookの利用法を教えてください。私も背伸びして話題についていくようにしています。おかげで無縁だった若者文化に触れ、若返った気分になれます。

こうして最近わが家の生活も穏やかな毎日です。世代、文化、国を越えて話すことで協調する知恵もつきました。気持ちを切り替え、新しいことを始めると時代の変化も感じます。現在はボランティアで周囲から学び、新生活を楽しんでいます。

自然への回帰

柳川 俊二 (三越 OB)

私には、いわゆる田舎というものはありません。生まれて以来半世紀以上、東京城北の地域で過ごしてきました。昭和30年代の後半までは、この周辺にも藁葺きの農家や足踏み式の水車で水を引く水路が縦横に





流れている風景がありました。これらの風景は、今は全く見られません。それだけ、その地域の人たちの生活が豊かになったといえるのでしょうか。しかし、私には失われた幼い頃の光景にノドが焼きつくような飢えを感じます。

奥多摩の植樹ボランティアに参加する気持ちになったのは、このような心の中の飢えを充たすといった単純なもので、自然の破壊、CO₂の汚染で病にかかった地球、そんな環境を良くしようというような大上段からの高邁な気持ちからの発想ではありません。川底が澄んで見える流れを見るとホッとすると書いた友がいます。四季それぞれの味わいを見せる樹木の中に身を置いたときの満ち足りた気分は、今の私には貴重な滋養分といえます。たった1日で落とした信用を取り返すためにはその何十倍もの時間が必要といわれます。それと同じに一度壊した自然を回復することは容易なことではありません。

昔、そのような自然が自分たちの周りにあったということすら忘れられていくことでしょう。完全な回帰といわずとも、それら自然が人に与えてくれる暖かさを少しでも多くの人々が味わえるような、われわれが生活する周辺に美しい自然を配置してみたい気持ちで、私は体力の続く限り、奥多摩でもどこへでも出かけて行けたらと思っています。

日赤医療センターでのボランティア

吉田 珠子 (商船三井OB 夫人)



日赤でボランティア活動を始めてから、もう7年あまりになるでしょうか。私がボランティアを始めるきっかけになったのは、ある大きなNPO団体の組織で、亡くなるまでそのトップで活躍していた同窓の大先輩がいて、その方の講演を聞いた中に「ボランティアはそんなに大げさに考えなくても、自分でできる範囲で、どんなに小さい事からでもいいのよ」とおっしゃられたのがきっかけでした。

ちょうどその頃、三井V-Netで三井の社員の直接OBでなくても、配偶者でもいいと聞いて、説明会に行ってみたら日赤病院のボランティアというのがありました。ここからなら歩いて行かれるし、続けられると思いいれただきました。

ボランティア5年の日赤表彰も過ぎてすっかり慣れ

た頃、今年1月から新病院に移転となり、まだ院内すべては把握しきれてないうえ、呼出機なる新システムが導入され、3か月過ぎた今もまだ初めての患者さんが来られ呼出機の説明やら呼出機の取り忘れなど、前より忙しくなりました。私は水曜日に活動しておりますが、この日は三井からの方が少ないので、なぜか英語の患者さんを回されるのが苦手です。呼出機の説明にいたっては、どう言えば一番通じるのか、娘に作ってもらって丸暗記で対応するあり様です。インターナショナルな病院なのだから、常時英語対応の職員が外来にいてもいいと思うのですが…。

それは別としても今は元気な老人が元気でないお年寄りをサポートする時代です。少々故障はあってもとにかく元気でいられることは有難いことだと思っています。ほんの少しでも社会の一角でお役にたてれば幸いです。

音楽の魅力を共有出来る喜び

—千葉大学病院での演奏ボランティアに参加して—

青木 いづみ (登録活動会員)

私は国立音楽大学大学院ピアノコースを修了した後、現在は尚美学園大学などにおいて後進の指導に力を入れております。日頃はこうした教育活動の傍ら、クラシック音楽を中心に演奏活動を行っていますが、西洋音楽は敷居が高くて馴染みにくいというご意見の方もよくおられるため、最近では様々なジャンルの曲を取り入れることにより、音楽に親しみを感じ、クラシックも好きになって頂ける方も増えてきており、嬉しく思っています。そして、闘病中の病院の患者様などにもこのような音楽の魅力を味わって頂けたら…という思いでこの度、医療・福祉分野での活動にも熱心に取り組まれている貴事業団に登録させて頂きました。



今回は、千葉大学医学部附属病院での演奏ボランティアをご紹介頂き、初回の4月はクラシックの名曲を中心に、ポピュラー、ジャズ、唱歌を含め、計8曲を演奏しました。会場の外来ホールに車椅子で聴きにきて下さった入院中の患者様や、ピアノに合わせて踊ってくれた小さなお子さん、「もう少し聴いて帰りたい」とお母さんをお願いして私の側に来てくれた女の子などもおられ、1曲ごとに皆様から温か

い拍手を頂き、大変感激致しました。

音楽の持つ不思議なパワーというものは、人々の心と体に大きな影響を与えるのではないのでしょうか？ そのような音楽の魅力を一人でも多くの方と共有出来るように、自身の研鑽を積み、ますますボランティア活動に励んで参りたいと思っております。

ボランティア活動はさまざまな出会いの場

山口 修平（三井住友銀行OB）



エリザベスサンダースホームの園内清掃を始めてから10年になります。銀行を早期退職した同時期に、三井V-Net事務局から誘いがあり家内と参加したのが始まりでした。

現在約50名にもなるボランティアを5～6名の班に分け、園内の草刈や樹木の剪定、落ち葉を集めたりしています。集めた落ち葉は回収業者へ渡し、葉堆肥として有機肥料となります。

参加しているボランティアは各方面で活躍された熟年者や学生、留学生、また企業から社会貢献活動としての参加などとさまざまです。普段関わることのない年代や海外の方と、皆で協力して行う作業は貴重な体験であり、作業終了後はなんともいえない満足感があります。

大磯にお住まいの会員の案内で『青鳩集団海水吸引飛来地』として、県の天然記念物に指定されている大磯照ヶ崎海岸まで足を運び、青鳩を観察できたことも感動しています。丹沢山系から飛来してエリザベスサンダースホームの木々で羽休めをし、大磯照ヶ崎海岸の岩場まで集団で海水を飲みに来ます。ボランティア活動での出会いがなければ、青鳩を知ることもしなかつたかもしれません。

2か月に1度の活動日を楽しみに待ち、清掃を手伝ってくれる子供たちに会うことや、その子供たちの成長を見続けられることも、これからも続けたいと思う原動力となっています。

関西支部（大阪）

三井V-Netに参加して

劉 曉琦（神戸大学中国留学生）

三井V-Netの紹介で藤岡さんと知り合い一生忘れることのない思い出がたくさん出来ました。藤岡さんと出会って良かったなぁと何時も思い込んでいます。2009年3月19日深夜、私は大雨で交通事故にあいました。異国で人生の中の初めての事故にあい、全身が痛かった時に、私は非常に怖く感じました。当時、私は事故後の警察、学校連絡、保険などについて全然何も知りませんでした。迷っていた後、藤岡さんへ電話かけました。藤岡さんは私を慰めてくださって、警察連絡、保険などのことを教えていただき、診療費の保証さえをしていただき、私は一人ではなく、そばに藤岡さんのような存在はまだいる、ものすごく感動しました。私は大学院入試試験を準備していたうちも、藤岡さんは何時も私を励ましていただいて、忙しいところでも私の研究計画書を訂正して、いろいろ提言していただき、本当にありがとうございました。2010年のお正月、藤岡さんのご家族とともに、私は初めて日本のお正月を楽しみました。本当にうれしかったです。お正月のとき、友達を自分の家に誘い、一緒にお正月を過ごすというのは、中国人にとって、最高レベルの接待とされています。私を本当の家族のように接して下さった藤岡家の皆さんに感謝しています。藤岡さんは退職してから、英語、狂言、陶芸などを学び始めたことにビックリしました。藤岡さんのおかげで、勉強ということは、いつ始めても遅くないということを痛感しました。

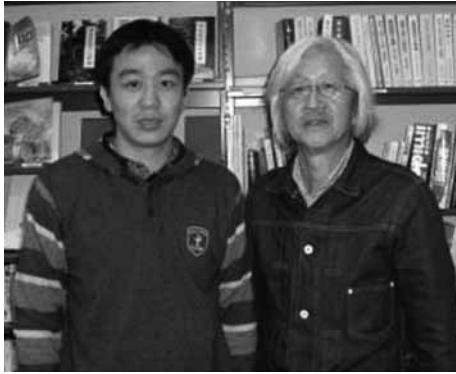
藤岡さんと一緒にいる時は、食事したり、旅したり、畑やったりすることなどいっぱいでした。たくさんコミュニケーションを通して、日本の慣習、伝統、日本人の考え方などを身につけた上で、日本に対する理解だけではなく、中国に対する認識もかなり変わってきました。今後、私は日本のことを中国のより多くの人々に伝えたいと思っています。もし中日の交流に少しでも役に立っていれば幸いです。



藤岡さん宅で餅つきをする劉さん（左）

劉くんと交流について

藤岡 徹 (三井住友海上 OB)



劉さん(左)と藤岡徹さん

私が今回この交流をしたいと思ったきっかけはスペインを歩いたことでした。

もう一昨年になりますが、私は会社を退職した後、自分を見つめ直したいという衝動にかられて、ひとりスペインの巡礼の路(780キロ)を約1か月掛けて歩きました。これを踏破したときの感動は、何か自分が生まれ変わったような新鮮なものでした。帰国に際し、これからはいろいろなことに挑戦しようと決めました、劉くんを紹介していただきたいと三井V-Netにお願いしたのも、これが動機でした。

神戸大学ではじめて会ったときの劉くんの印象は、おとなしそうな感じがしましたが、話をしてみると、自分の夢に向かって着実に進んでいる姿に驚かされました。彼は中国の大学を卒業後、3年程、社会人として中国の旅行会社に就職していましたが、そこを退職して一昨年の9月に神戸大学の研修生として来日、1年後の昨年9月、見事神戸大学に合格、今年の春から神戸大学大学院に通うことになっています。将来は中国に帰って、大学教授の道を歩みたいそうです。

交流は、だいたい月1回程度です。彼は勉強とアルバイトがありますので、メールでお互いの都合のいい日を決めて会っています。交流については、私個人との交流と更に私の係わっている仲間たちを巻き込んだ形での交流を心がけています。私の仲間達にもいい刺激になると思うからです。兵庫県篠山で私の畑仲間と田植えや稲刈りや、農家の同世代の若者との交流もありました。畑仲間である大学の教授達と人間的な交流もでき、漢文の話にも花が咲いています。また最近、私のはじめた狂言にも興味を持ってくれています。狂言(大蔵流)の先生との交流もできつつあります。一方通行でなく、この交流がお互いの刺激になってくれればいいなと思っています。貪欲な彼は、今度はピアノに挑戦しています。来年はコンサートでもできればいいですね。

同志社大学留学生サポート

田中 重 (三井住友海上 OB)

私の留学生サポートは、銭君で5人目になりますが、共通していることは、日本人学生には稀になった貪欲に物事を吸収しようとする意欲を皆さんが備えているということです。最近の角界にどこか似ていますね。とりわけ銭君の明るさ、フットワークの軽快さ、日本語の流暢さに脱帽です。生い立ちの苦勞を見せない、人当たりの良さで、今後も出会う人たちを魅了し続けてくれることでしょう。私もその一人になったのですから……。

田中さんとの交流について

銭 俊傑 (同志社大学中国留学生)



田中重さん(左)と銭さん

私は同志社大学院に入学後、気の合う友人は殆ど留学生であるため、日本人と深く交流する機会がありませんでした。そのため、日本語などの問題に直面した際の打開策に頭を悩ませていました。

たまたま国際交流センターに張ってあったポスターを見かけ、ボランティアをしてくださる方がいらっしゃいました。これが田中さんです。

週に1回の交流は私にとって、今ではなくてならないものとなりました。

この半年、就職活動の始まりで、インターンシップ、企業説明会や自己分析などやるのがたくさんあります。留学生である私は日本語すら問題だらけで、就職活動なんて本当に知らないことばかりでした。しかし、田中さんはいつも励ましてくださいました。この交流を通じて、就職を中心に様々な知識が広がっていきました。

どんな時期に何をすべきか、どの会社がどのような事業を展開しているのか、私の人生はどう過ごしてきたか、どのエピソードは役に立つのか、毎週



どのような大事なニュースが発生したのかなどなど全力で知っているものをすべて教えてくださいました。

いつも田中さんが「この世の物事に対して、見るだけでなく、考えることこそが最も大切です」とおっしゃっています。少し考えれば、些細な現象でも大きな道理が見えると、自分自身の思考力そして物事に臨機応変に対応する力へと結びついていきます。

私にとって、田中さんとの交流は学校以外の知識を得るための最も有意義な時間であると感じています。コミュニケーション力、表現力、問題分析力など様々な力が伸ばせると思います。

田中さんと出会ったことに心から感謝しています。田中さんとの出会いのおかげで、留學生活の楽しさも倍になり、自分自身の更なる成長も遂げています。

私はこれらのことを留學生活の一部として肝に銘じ、将来、田中さんのように、更なる多くの人の力になり、この輪を広げて行きたいと思っています。

初めてのボランティア

浜地 慶子（三井住友銀行 OG）



43年間の永い銀行員の生活が終わりに近づいて来た頃、退職後はどのようなライフスタイルにすれば、充実した日々が過ごせるかと考えるようになりました。

やがて退職という卒業の日を迎え、永年の疲れを取りつつゆったりと時の

流れを感じながら過ごしたいという願望がありました。

時には旅に出て真昼から露天風呂に体を沈め紺碧の空を見つめてのんびりと温泉浴を楽しむ。なんと毎日が快適で自由に気ままな日々だろうと感じました。

ところが2、3ヶ月経過するや否や今度は、何かどこか物足りなさを感じる日々が続きました。たまたま銀行のOB会があり三井V-Netのボランティア活動を知りました。私は、まったく初めてなので無理なく長く続けることが出来る、図書室での貸出しや閲覧のお手伝いを選びました。

初めての活動の日、1時間を要する済生会中津病院を訪れました。そこは、建物が新しく明るく清潔で、ロビーは植物が多くとても落ち着いた雰囲気でした。病院独特の消毒臭もなく、まるでシティホテルのロビーのような風格がとても気に入りました。

図書室に案内される前にいただいたボランティア専用のエプロンを身につけ徐々に緊張し図書室に入りました。なんと書籍は整頓され、パソコンまで完備されていました。書籍の種類は、専門の医学書からマンガや絵本など子供さんへの配慮も充分でした。

活動時間は、わずか10時から12時迄の2時間ですが、その間入院患者、外来患者、付き添いの方々など病院と関わりのある人達が時間を過ごしに、またご自分の病気の知識を学んだり、死の不安を抱えている人などさまざまな人たちが出入りされたりします。

他の院内活動として、時々入院患者の昼食前の配茶の活動があります。ベッドに横たわる方に飲物の注文を聞きお部屋にそれを届けるものです。

この活動を通して健康を維持する大切さや、いろいろな方々と接することにより学ぶことが多く、銀行とはまったく違った社会を感じ毎回少し刺激を受けて帰宅します。

私にとって初めてのボランティアは、このように身近で自分の出来る範囲で、無理なく行動することにより永く続けられる、そしてちょっぴり社会に参画できる喜びを感じることでした。今後も少しずつ違った活動にも参加して行きたいと思っています。

植木職人としての第2の人生

羽田 忠（三井物産 OB）

私は平成7年に退職し現役時代とは全く異なった道に進むことになった。ハローワークでたまたま目にとまった奈良県立高等技術専門校の募集案内をみて造園技術科に応募したところ運よく合格、半年間基礎を学び卒業後その学校で教わった先生が退職されたのを機に弟子入りし、3年間徹底的に仕込まれた。この3年間の経験が植木屋として独立する自信につながった。

7年前、造園技術科の卒業生による同窓会「緑友会」が発足した。現在会員は220名に達し、私は会長として組織の運営にあたっているが、この中からすでに有望な後継者が大勢育ってきており心強く思っている。緑友会では、剪定技術の向上、顧客の継承、会員同士の助け合いを目標に各種技術研修会、勉強会を開催しているが、特に力を入れているのが地域貢献活動としてのボランティア活動である。奈良市は今年平城遷都1300年祭で内外から大勢の観光客が訪れる。緑友会では会員の技術と力を結集し、メイン会場となる平城宮跡（世界遺産）



人と人のまんなかに。

の景観保全に一役買おうと一昨年より広い宮跡内の樹木の剪定を始めた。毎回30名近い会員が呼びかけに応じ、脚立を積んだ10数台の軽トラックがずらりと勢揃い、各グループにわかれテキパキと剪定していく。ぼうぼうに暴れていた樹木はすっきりと形を整えられ美しい姿に蘇る。このように植木のプロ集団である緑友会のボランティア活動は、これから公園、学校、施設などを対象に拡大発展していく可能性がある。樹木の剪定は1回やれば終わりではなく毎年やらねばならない。従ってお客様に満足していただけることが仕事を継続する上で何よりも大切である。ところで私は最近三井V-Netの紹介で司馬遼太郎記念館の庭木の剪定ボランティアを始めることになった。といっても忙しい時期と重なったため具体的にはまだ何もしていないが、これから草花の手入れ、除草、落葉はき、低木の刈込など来館者に気持ちよく過ごしてもらおうようお手伝いしたいと思っている。



植木職人作業風景

中国支部（広島）

社会人になるにあたって 広島平和記念公園清掃ボランティアに思うこと

米田 隼治（登録活動会員）
（広島経済大学 4 回生）



私は月に1度程ですが広島平和記念公園の清掃に参加させていただいています。このボランティアに参加しようと思ったのには理由があります。ボランティアを通じての様々な交流は、社会人になる前に必要不可欠だと思います。今日の大学は地域や企業との

交流は少なく、あまり外に出て行こうという気概が感じられません。それは大学のサークルやアルバイ

トで同年代と話すことはあっても、知らない人や社会人の方と話す機会は皆無だからです。私も大学3年生まではアルバイトでしか人と話す機会はありませんでした。だからこそ自分のコミュニケーション不足を痛感いたしました。社会人になると知らない人と話すことが当たり前になります。ボランティアを通じて「知らない人と話す能力」を身につけることも今の学生にとってはとても大事なことだと思います。

まだ参加して4回程ですが、とてもやりがいを感じています。社会人になっても是非活動を続けたいと思います。



広島平和記念公園の クリーンボランティアに参加して

後長 葉月（東芝エレベータ社員の家族）

私はこの清掃に参加して、いろいろなことを発見しました。まず、最初に人の多さです。休日というものもありますが、あんなに沢山の人が平和記念公園に来てくれているのを知って、とても嬉しく思いました。それにこんなに沢山の人が毎日来てくれているにも関わらず、あまりごみが落ちていなかったことに感動しました。

2つ目は今まで知らなかった平和記念公園を見られたということです。何回か平和記念公園をおとずれたことはありましたが、今までは建物の中しか見ていませんでした。ですが、清掃活動をしていくなかで石碑や自然を見ることが出来ました。

高校に入る前にこの清掃活動に参加できてよかったです。一緒に活動する人と会って助け合い、平和記念公園や自然を見て平和や自然のことをよく考えるようになりました。また参加したいと思います。



後長さん一家（左端が葉月さん）

平和記ねん公園の 清掃ボランティアにさんかして

野末 ゆう太郎 (小学3年生)
(東芝エレベータ社員の家族)

ぼくは、お父さんにさそわれて、ボランティアにさんかしました。平和記ねん公園のまわりにはごみがたくさんすててありました。一番多かったごみは、たばこのすいがらでした。平和記ねん公園にごみをすてる人がいなくなればいいと思いました。

ぼくは、ボランティアにさんかして平和記ねん公園をたのしくきれいにできたのでとてもうれしかったです。これからもボランティアにさんかしたいです。



雄太郎君は前から2番目

「GIC10周年記念の森」の手入れに参加して

原田隆生・和美 (三菱重工業OB・三井物産OG)



原田夫妻

今年2月に三井V-Net中国支部に家内と共に入会し、3月7日に中央森林公園で実施された「GICの森植樹祭」に参加した。これが我々にとっての初めての行事参加である。この中央森林公園は広島空港

に隣接しており、我が家からは車で20分余りのところにある。

今回GIC(ひろしま緑づくりインフォメーションセンター)主催の植樹祭には、約70名の参加があり、三井V-Net中国支部からも8名が参加した。

朝からどんよりとした天気、天気予報では「くもり時々雨」であったので、雨の中の作業になるかと心配したが、なんとか雨は降らずにすんだ。ただ3月にしてはとても寒い中での作業であった。

作業前の主催者からの説明によると、この森林公園には850本の桜が植えられていて、そのうち昨年植えられた200本の若木に施肥をするのが当日の作業である。作業内容の説明が終わると参加者は4班に分かれ、各自スコップを手にそれぞれの担当場所に移り作業に入った。

桜の幹から40cm位の所に4ヶ所、直径30cm深さ30cmの穴を掘り、そこに醗酵牛糞を入れ、土をかぶせていく。作業は昼前に終わり、昼食(鶏の炊込みご飯と豚汁)をおいしく頂き解散をした。

桜は早いものは10日後から咲き始める、ということであったので、必ず弁当を持って花見に訪れたいと思っている。当日は、RCC中国放送も取材に来ており、当日の作業は3月22日(祝日)19:50～「LOVE GREENスタイル」の中で放映されることなので、これも見逃さない。





人と人のまんなかに。

クリーンボランティアに参加しませんか

竹野下 邦子（中国支部事務局員）



4月18日に、広島平和記念公園の清掃活動が41回目を迎えました。平成18年10月中国支部の開設以来続いている活動です。毎月第3日曜日に、午前10時半から12時まで公園内のごみ収集を行っています。職場の仲間、ご夫婦、初参加の大学生たちで、今回は29名の参加がありました。

私は、定年退職後ブラブラしていて何か始めなければと思っていた時、三井V-Net事業団中国支部の上村所長に声を掛けていただき4ヶ月前よりお手伝いさせていただいています。ボランティア前日までに名札、軍手、ごみ袋などを準備して清掃活動に参加しました。

現場では会員の人たちに協力していただき、新米スタッフとして何とか無事にお手伝いすることができました。これからも人との出会いを大切に自分も楽しみながら活動を続けたいと思っています。

清掃活動は、初めての人でも取り組みやすいボランティアです。季節を感じながら平和公園を散歩する気分、皆様もぜひ参加してください。



フラワーフェスティバルの ボランティアに参加して

檜谷 芙美子（登録活動会員）

今年もフラワーフェスティバルがやって来た。今年のフェスティバルの3日間は好天に恵まれ、大勢の

人が集まり祭典を楽しんでいた。私は5月5日にふれあい広場のお茶席にボランティアで参加した。お茶席のお客さんは優雅に、赤い毛氈の掛かった椅子に掛けられ、お菓子を食べ、お抹茶を頂いておられました。お茶席はこの人込み



の中に静かな雰囲気漂わせる安らぎの場所になっていた。見知らぬ人とも楽しく会話が弾み、ふれあいが出来、どこにも笑顔がありました。思えば娘がバトントワリングで第3回のフェスティバルに参加していた。田中町から行進し、私は娘の着替えを持って、平和公園まで、真夏日のような暑さの中、人込みをかきわけかきわけ汗だくで歩いたことを思いだした。30数年たって今年はボランティアで参加し、盛大に、平和の花、みんなの笑顔と鼓動Yosakoiの活気あるフェスティバルに感動した。また来年もお手伝いに来たいと思う。爽やかさと元気を頂きボランティアで充実した一日でした。



事務局便り

エリザベスサンダースホーム「第4回チャリティーコンサート」開催のご案内

三井 V-Net 湘南倶楽部は大磯のエリザベスサンダースホームで第4回チャリティーコンサートを下記のとおり開催いたします。

別途ご案内いたしますが、皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。なお、チャリティーコンサートの収益金は同ホームに寄付いたします。

記

- 1: 日 時 平成22年11月14日(日)14時開演予定
- 2: 会 場 聖ステパノ学園「海の見えるホール」
JR大磯駅下車、徒歩5分
- 3: 演奏者 島田彩乃氏(ピアノ)を中心に構成予定
- 4: 演奏曲目 未定
- 5: 入 場 料 2,000円
- 6: 定 員 200名



第3回コンサートの演奏風景

2009年度ダルニー奨学金支援



奨学金を受けた子供達

三井V-Netでは、一般財団法人国際センターを通じダルニー奨学金に、書き損じはがきや未使用切手・使用済みインクカートリッジなどを贈り、アジアの子女たちの奨学金に充てています。2009年度のダルニー奨学金支援は、タイ16名・ラオス16名・カンボジア4名の合計36名の学生達に支援が出来ました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

今までは皆様のご寄贈により未使用切手・書き損じはがき等がかなり集まっており、それをストックしながら毎年一定水準の金額を継続して支援出来ておりましたが、近年の通信事情の変化により、現在の切手・はがきの収集状況は大変厳しいものとなっております。未使用切手および書き損じはがきと共に使用済みのインクカートリッジも受け付けておりますので、今後も継続して奨学生達の支援が出来ますよう皆様のご協力をよろしく願いたします。

皆様からの原稿を募集中

ニュースレターは、会員皆様からの寄稿文を中心に年2回(1月、7月頃)発行し、運営会員会社OB及びその関連先宛に配布しています。このニュースレターを通じて会員間の交流と情報交換が今まで以上に広がることを期待しています。

三井V-Netの活動に参加されたご感想、ご提案、ご意見等幅広く募集しておりますので字数500～600字以内の原稿と写真一葉を添付のうえ、事務局までご送付下さい。なお、掲載時期については事務局にご一任下さい。

ホームページのご案内

三井V-Netの行事や活動の詳細をホームページにて掲載しておりますので、具体的な活動内容及び行事予定日等は、ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.mv-net.com/>

編集責任者：木村 堅二

三井ボランティアネットワーク事業団 (三井V-Net) 皆様もボランティア活動に参加しませんか

三井ボランティアネットワーク事業団は、三井グループ各社の協力を得て、1996年に設立され、社会全般のシニア層に対してボランティア活動を紹介・仲介・斡旋するとともに、三井V-Net独自のボランティア活動を企画・立案・実行することによって、シニアが豊かで健康な生きがいを感じられるよう支援を行い、三井グループ全体の社会貢献活動に資することを目的としています。ボランティア活動会員登録に関しましては入会金および年会費等は不要です。

ボランティア活動会員登録票		FAX (関東地域) 03-5570-8035 (関西地域) 06-4396-8681 (中国地域) 082-222-5101	
三井ボランティアネットワーク事業団(三井V-Net) 御中 貴事業団を通じたボランティア活動への参加を申込みます。			
記入日 20 年 月 日			
氏名	(フリガナ) -----	生年月日	19 年 月 日
		性別	[]男 ・ []女
住所	郵便番号 -		
自宅電話番号	-	-	
自宅FAX番号	-	-	
携帯電話番号	-	-	
E-Mail Address			
出身企業			
以下の活動についてご希望される項目に○印を入れて下さい(複数可)			
希望するボランティア	① [] 国際交流 (留学生と日本語を通じたの交流・文章作成の支援等)		
	② [] 環境保全 (河川敷・海岸等の清掃、水源林地域保全活動)		
	③ [] 医療・福祉 (病院外来の案内・図書整理等、福祉施設内の草刈・清掃等)		
	④ [] 文化・教育 (文化施設での手伝い、発展途上国の教育費支援)		
	⑤ [] その他ご希望される活動をご記入して下さい		

上記入手の個人情報は、個人情報保護法の方針に従って厳重に管理し、ボランティア活動に必要な範囲内に限り使用させていただきます。

三井ボランティアネットワーク事業団

本部(東京) 〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-3 赤坂中川ビル3階
TEL:03-5570-2181 FAX:03-5570-8035

関西支部(大阪) 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-12-5 難波室町ビル4階
TEL:06-4396-8680 FAX:06-4396-8681

中国支部(広島) 〒730-0017 広島市中区鉄砲町6-7 槌本ビル5階
TEL:082-222-5101 FAX:082-222-5101

ホームページアドレス <http://www.mv-net.com/>